

令和5年度 学校経営計画書

学校番号	36	学校名	静岡県立静岡東高等学校	校長名	宮田 治幸
------	----	-----	-------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

卒業後多くが大学等に進学する静岡地区の文武両道の学校として、生徒一人ひとりの可能性を広げる個に応じた手厚い教育を通じて、自分に負けず、明日を拓き、主体的に社会を作っていこうとする人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<ul style="list-style-type: none"> ・「自分を知る（自己理解）」 自分を正しく見つめ、幅広い教養と多角的論理的な思考力を身につけ、粘り強く、豊かな人間性を育む。 ・「自分を変える（自己変革）」 高みを目指し、仲間と試行錯誤して、未知の物事に挑戦するための意志や創造力を育む。 ・「自分を超越（社会貢献）」 視野を広げて、地域や社会の課題解決に力を尽くす態度や能力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟かつ多様な教育活動を実践し、未来の社会に対応できる総合力を育む。 ・互いを尊重し、ともに真理と正義を希求する学習活動を通して、豊かな人間性と創造性を育む。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>カリキュラム・ポリシーの補完：「育成を目指す具体的な資質能力（3観点別）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能 →幅広い教養，真理を追求する力 ・思考力・判断力・表現力 →課題設定力，課題解決力，発信力 ・学びに向かう力 →継続力，メタ認知能力，レジリエンス，協働力，リーダーシップ，チャレンジ精神 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な学習習慣が確立され、主として大学進学を目指し、高い目標を掲げて学業に真摯に取り組む生徒。 ・部活動、学校行事、生徒会活動、校外活動等に積極的に取り組んだ経験を活かし、入学後も様々な活動に参加し自分を高めようとする生徒。 ・学校や社会の規範を守り他者と協働して、生徒実行目標「自分に負けるな」を自己の学校生活に具現化できる生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現のために組織的な授業改善に取り組み、確かな学力を育成する。
- イ 外部人材の活用や高大連携をとおしてキャリアプランニング能力を育成し、高い志を持ち、進路目標に挑戦しようとする態度を育てる。
- ウ 授業・部活動・学校行事の両立を通して、目標に向けて自己をコントロールする力や、多様な人々と協働しながら課題解決する力を育成する。
- エ 心身の健康をはかり、災害・事故・病気等から命を守り、自他を尊重する精神を育成する。
- オ 充実した広報活動を進めることで、中学生やその保護者、地域住民や市民に、生徒の活躍や教育の取組が理解される学校になる。
- カ 業務改善を進め、職員相互の意思疎通と連携を通じて、働きやすい職場環境を目指す。
- キ 県教育委員会と連携し、新校舎建築に係る業務を円滑に進める。
- ク オンリーワン・ハイスクール（アカデミック・ハイスクール）事業の取組を通して得た成果を踏まえ、探究的な学びを通して主体的に課題を発見し解決する力を養う。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記入）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	授業改善と確かな学力の向上	主体的・対話的で深い学び、観点別評価、ICT活用の校内研修会と教員の相互授業参観の実施、生徒による授業評価の分析等により授業改善を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の授業参観 年3回以上 100% ・「授業を通して新たな知識や考え方を身に付けた」と答える生徒の割合 全科目で80%以上 ・教員の教科指導セミナー参加者人数 5人以上 	研修課 情報管理課
		高校生のための学びの基礎診断・各種模試等の結果分析、学習時間調査等をふまえた組織的で計画的な学習指導と、個に応じた学習指導により学力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年家庭学習時間平日1日平均最低90分、目標3時間以上 ・1・2年11月進研模試偏差値平均 55以上 ・大学入学共通テスト平均点 全国平均+5%以上 ・学習支援プラットフォーム(Classi)の学習指導への活用 	進路指導課 学年部
		大学入学共通テストに対応できる学力を育むとともに、新学習指導要領に則した指導体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新教育課程・共通テストに対応する体制の確立 ・3年間を見通した進路指導計画の検証と改善 ・Classiによる活動履歴蓄積の推進 	教務課 進路指導課 学年部
		「東陵セミナー」及び各教科の探究的な活動を通して生徒の知的好奇心を高め、社会問題解決に関わろうとする意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業を通して新たな知識や考え方を身に付けることができた」生徒 80%以上 ・「社会の様々な課題の解決に向けて、自ら主体的に関わろうと思う生徒」 80%以上 	探究推進課 学年部 各教科
		授業の充実と週テストの確実な授業内での実施をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組状況・姿勢について、「自ら進んで取り組んでいる生徒」 70%以上 	教務課 学年部 各教科
		ICT環境を整備し、情報機器やクラウドサービス等を積極的に活用し、持続的な学びを実現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末の活用 ・情報機器を活用した学習機会の拡大 ・授業や探究学習でのICT活用を進める。 	教務課 情報管理課 探究推進課 各教科
イ	志の育成と進路目標への挑戦	各種進路行事や高大連携による各種講座等により高い志を育成し、組織的できめ細かな進路指導により、主体的な進路選択ができる能力を育み、進路目標を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・大学模擬授業 生徒満足度 各90%以上 ・大学訪問 生徒各自の目標達成率 100%（オンライン説明会参加も含む） ・大学入学共通テスト5教科型受験率 80%以上 ・ハイレベル模試受験者数 学年各30人以上 ・県内国公立大学合格者数 60人以上 ・国公立大学現役合格者数 卒業生の50%以上 ・難関国公立大学（※1）合格者数 10人以上 ・難関私立大学（※2）合格者数 90人以上 	進路指導課 学年部
			<ul style="list-style-type: none"> ・「専門教養講座」の単位取得者 5人以上 ・生徒個人面談回数 年間5回以上 	教務課
			<ul style="list-style-type: none"> ・静岡大学実験講座 参加者数20人以上 満足度90%以上 	※3
			<ul style="list-style-type: none"> ・東陵セミナーの充実を図るとともに、授業・学校行事・部活動についてカリキュラム・マネジメントの観点で指導することにより、育てたい資質能力（課題設定解決能力等）を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行生徒満足度 90%以上 ・SDGs等に関する各種外部コンテスト・プレゼン大会に参加する生徒 30人以上
		<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs terakoya 参加者の満足度90%以上 ・英語外部検定（GTEC等「学びの基礎診断」）CEFR B1レベル 60人以上 A2レベル 500人以上 	進路指導課 探究推進課 英語科	
		部活動や学校行事を通して	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻生徒数 1日平均全校で5人以下 	教務課 学年

様式第1号

ウ	自主自律の精神と豊かな人間性の育成	メリハリのある生活習慣と目標に向けて主体的に取り組む態度、他と協働する力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・東陵祭生徒満足度 80%以上 ・「自ら挨拶をしている」と答える生徒 90%以上 ・各部活動の目標達成率 80%以上 ・最終下校時間 19:30 の遵守 	生徒指導課
		初期指導の在り方を検討し、ネット社会を鑑み、モラルと品位のある生活態度と人権意識を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・初期指導を効果的に実施する中で、「高校生活指導プログラム」の見直し ・情報モラル講座の実施、関連の生徒指導 0件 	学年部 生徒指導課 ※4
		文化教室・読書指導等を通して豊かな感性を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化教室 生徒満足度 80%以上 ・ビブリオバトルの実施 ・図書館の貸出本冊数 12,000 冊以上 	図書課
エ	心身の健康と命を守る教育の推進	交通安全指導の充実により交通ルールとマナー遵守の態度を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・重大な生徒交通事故件数 0件 	生徒指導課
		保健教育と教育相談機能を充実させ、健康で心身の調和が取れ、レジリエンスが高い生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほけんだより」の発行回数5回以上と発行方法の工夫 ・保健教育（集団指導）の実施 	保健課
			<ul style="list-style-type: none"> ・グループエンカウンター（1年生）の実施 ・セラ・プラスの実施と活用 全学年 ・相談室連絡会を定期的に開催し、課題を有する生徒についての情報共有、適切な支援策の作成・実行により、生徒支援の充実を図る。 ・丁寧な生徒観察と早めの声掛けを実施し、関係職員やSCとの情報共有等、困難を抱えた生徒に対する組織的な支援の実施 	教育相談課 学年部
災害時の備えを充実させ、防災・減災意識を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災訓練への生徒参加率 80%以上 ・一斉メール配信を活用した安否確認訓練の実施 	総務課		
オ	積極的な広報活動	土曜日の学校公開やHP等による広報活動を充実させ、本校の特色や生徒の日常を積極的に発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜公開授業の参加者数 計 1,600 人以上 ・土曜公開授業外部評価 満足度 90%以上 	管理職
			<ul style="list-style-type: none"> ・土曜公開授業での校内美化点検の実施 	保健課
			<ul style="list-style-type: none"> ・HPのタイムリーな情報発信と週2回以上の更新 ・HPにおける各部活動の活動報告 学期1回以上 	情報管理課
カ	業務改善と働きやすい職場づくり	学校の窓口として、常に丁寧な対応を心掛け、来客や外部からの問い合わせ等に速やかに対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室窓口へのクレーム件数 0件 	事務室
		施設・設備・物品の環境整備について、いち早く危険箇所や不具合を発見し、速やかに対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備等の不具合による事故 0件 	
		不要品の処分や整理整頓・清掃により、職場を働きやすい環境へ整える。	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室や職員室の共用スペース等を片付ける。 	保健課
		不祥事根絶研修によりコンプライアンス意識を向上させるとともに、教職員の協働・連携体制を整える。	<ul style="list-style-type: none"> ・「信頼できる先生がいる」と答える生徒 80%以上 ・配付されたGoogleアカウント内のチャット機能により、勤務時間外も含めた非常時に、管理職・運営委員が迅速な情報共有と意見交換を行えるようにする。 	管理職 運営委員

様式第1号

		ICT やクラウドサービスを活用して、業務改善に取り組む、教職員の多忙化解消を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌の整理や部活動の統廃合による校務整理 各種調査、教材研究等積極的に ICT 機器を活用し、校務の効率化を図る。 	管理職 情報管理課
キ	新校舎建築に関わる業務の遂行	新校舎の根幹となるための基本設計を検討し、円滑に実施設計につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計（校舎配置、諸室配置、仮設校舎等）について、職員に丁寧に説明し、それに対する意見や要望を集約する。 設計に関する学校の意見を県教委や営繕担当課に的確に伝え、適切に意見交換や情報交換に努める。 	管理職 事務室
ク	オンリーワン・ハイスクールの成果の活用	オンリーワン・ハイスクール事業を検証し、その成果を、生徒の探究的な学びや主体的に課題を発見し解決する力のより良い育成につなげる。	外部専門機関・地域連携による探究的学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> 県立大学との連携による探究的学習への参加者数 延べ 30 人以上 地域との連携による探究的学習への参加機会 20 回以上 個別の成果指標を達成するための手立て <ul style="list-style-type: none"> 生徒の成果発表の回数 50 回以上 	管理職

※1 北海道、東北、東京、名古屋、京都、大阪、九州、東京工業、一橋、神戸、医学部医学科

※2 早稲田、慶応、上智、ICU、東京理科、学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政、関西、関西学院、同志社、立命館

※3 理系高大連携推進委員会

※4 いじめ防止対策委員会